



議会だより

2009

No. 76

題字は川崎小6年 あべならき 阿部那良輝 さんです

平成21年5月1日 (年4回発行)

発行：大分県日出町議会

電話 73-3135



ようこそ新1年生 (日出小学校入学式)

目次

● 平成21年度当初予算	2
● 常任委員会報告	4
● 一般質問	7
● 町民の声	12

75億6700万円 (前年比1億7700万円減)

59億8361万円 (前年比7億7678万円減)

投資的経費増加は3年ぶり (前年比25%増)

一般会計は、前年度と比べ減少していますが、前年度は貸付事業債と借換債（歳入と歳出に同じ項目で計上）で2億5560万円計上しているため、実質的には前年度対比約7860万円の増加と考えています。また平成18年度以来3年ぶりに、投資的経費が約1億2000万円の増加となりました。町債残高、特別会計への繰出金も減少し、町財政は少しずつ柔軟性を取り戻しつつあります。しかし景気低迷で、今後しばらく町税収入は減少し、回復が見込めないことから、長期的な視野に立ち、厳しい財政環境を認識した予算となっています。

主な歳入

町税は、総額で28億4477万円、景気後退による企業収益の悪化と固定資産の評価替えで、町民法人税と固定資産税の減少を見込み、前年度対比1億9071万円の減少です。

個人住民税	10億9460万円
法人住民税	2億6330万円
固定資産税	12億7000万円
軽自動車税	5600万円
たばこ税	1億4000万円
特別土地保有税	2000万円
入湯税	2000万円

地方交付税は、「地方雇用創出推進費」が新たに創設されたことで、前年度に続き5000万円増加し、総額18億4000万円です。

普通交付税	17億2000万円
特別交付税	1億2000万円

町債は、歳入不足や特定の事業に充てるために、先々の年度まで計画をたてて返済する借入金です。今年度の総額は6億2590万円、前年比5330万円の減額となっています。

農林水産業債	260万円
土木債	2億4330万円
臨時財政対策債	3億8000万円



待望の建て替えの設計が始まります (豊岡小学校)

基金繰入金は、予算が不足する場合などに基金を取り崩して会計に入れるものです。主要2基金の総額は2億1188万円、前年比2696万円の増額です。

財政調整基金	1億1188万円
減債基金	1億円

特別会計内訳

会計区分	平成21年度当初予算額	平成20年度当初予算額	増減額
国民健康保険	27億3859万円	28億7374万円	▲1億3515万円
簡易水道	1331万円	1336万円	▲5万円
公共下水道事業	8億662万円	12億906万円	▲4億244万円
老人保健	100万円	3億190万円	▲3億90万円
土地区画整理事業	3789万円	4366万円	▲577万円
漁業集落排水事業	6124万円	6588万円	▲464万円
農業集落排水事業	3824万円	3701万円	123万円
介護保険※	20億3980万円	19億5391万円	8589万円
後期高齢者医療	2億4693万円	2億6188万円	▲1495万円
合計	59億8361万円	67億6039万円	▲7億7678万円

※介護保険特別会計はサービス開始以来利用者が年々増え、21年度も大幅な増額となり、今後も増えることが予測されます。介護予防の各種施策の推進は、これからの大きな課題です。

平成
21年度

一般会計当初予算 特別会計当初予算

議会費 1億2,618万円(1.7%)

議員報酬	6,272万円
職員人件費	5,155万円
補助費物件費	1,191万円

公債費(借入金21年度返済分) 9億3,582万円(12.4%)

平成20年度末の公債費残高は 見込み額で	91億1,272万円
-------------------------	------------

予備費災害復旧費 3,398万円(0.5%)

総務費 10億8,067万円(14.3%)

人件費	7億7,516万円
うち非常勤職員報酬	1,711万円
町長等職員給料	2億6,815万円
職員手当	1億5,081万円
共済組合負担金等	1億1,816万円
退職手当組合負担金	2億1,371万円
物件費	1億6,341万円
補助費等	7,526万円
町議会議員選挙費	1,018万円

教育費 6億3,079万円(8.3%)

小学校費	9,200万円
中学校費	4,628万円
幼稚園費	1億1,623万円
社会教育費	1億5,352万円
保健体育費	1億4,072万円
教育委員会、事務局費	8,203万円
人件費	3億8,195万円

民生費

23億4,064万円(30.9%)

児童手当	2億3,120万円
児童運営費(保育園児就学補助)	6億1,243万円
その他の児童福祉	8,225万円
障がい者や老人支援など	4億4,940万円
国民健康保険の町負担分	1億4,546万円
介護保険の町の負担分	2億7,272万円
後期高齢者医療の町負担分	3億3,054万円
補助費等	3億2,518万円
物件費	8,214万円
人件費	1億9,517万円

消防費 4億3,875万円(5.8%)

杵築速見消防組合負担金	3億9,030万円
消防団員報酬	824万円
人件費	2,652万円

平成21年度 一般会計当初予算 歳出

目的別内訳と主な項目
()は構成比

土木費

8億9,549万円(11.8%)

道路新設改良・維持費 (工事請負費)	7,650万円
場谷駅周辺整備を中心とする まちづくり交付金事業 (工事請負費)	1億4,750万円
公園管理委託料	2,200万円
公共下水道、土地区画整理事業 繰出金	2億3,053万円
町営住宅修繕、工事請負費	1,350万円
人件費	1億3,081万円

商工費・農林水産業費 3億4,534万円(4.5%)

商工会、観光協会助成金	917万円
かれい祭り行事負担金	700万円
農林業振興の負担金補助金	3,186万円
農業土木工事請負費	705万円
水産振興の負担金補助金	6,934万円
原山、大神浄化センター繰出金	4,761万円
人件費	1億8,076万円

衛生費 6億5,247万円(9.8%)

母子保健費(乳幼児医療等)	1億221万円
ごみ収集運搬手数料	7,500万円
合併処理浄化槽設置整補助	702万円
秋草葬斎場、藤ヶ谷清掃センター等負担金	1億2,194万円
杵築速見環境浄化センター負担金	2億 251万円
人件費	1億3,641万円

常任委員会

総務

20年度一般会計
補正予算

専決第2号は、国の2次補正予算成立を受け実施する定額給付金給付事業および子育て応援特別手当支給事業を迅速に給付開始するための事務費



川崎地区の新しい都市公園を視察（旧豊和平原グラウンド）

子育て応援特別手当支給事業は町の対象者450人の見込みで1620万円。地域活性化・生活対策臨時交付金事業で19の事

で総額2103万円、全額国庫補助金として歳入歳出で計上。第4号は、定額給付金事業で対象者2万8732人で4億4037万6千円。

日出町地域活性化・生活対策実施計画掲載事業 【地域活性化・生活対策臨時交付金充当事業】

(単位：千円)

No.	所 属	事 業 名	事 業 内 容	総事業費
1	総 務 課	消防団設備整備事業	消防団設備の充実経費	25,245
2	財 政 課	低公害車導入事業	低公害公用車(ハイブリッド車)購入経費	5,803
3	税 務 課	申告支援システム構築事業	申告支援システム導入経費	5,300
4	福祉対策課	障害者支援システム構築事業	障害者自立支援システム導入経費	7,643
5	健康増進課	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ対策経費	1,800
6	〃	食育推進計画策定事業	食育推進計画策定経費	2,520
7	生活環境課	安心安全の水供給事業	赤松宮ノ下地区簡易水道組合施設改修補助	386
8	〃	生活環境保全事業	臭気測定機器、不法投棄防止監視カメラ購入費	1,900
9	商工観光課	陽谷城周辺地域活性化事業	的山荘開催イベント経費補助	1,195
10	農林水産課	有害鳥獣被害防止対策事業	猪被害等防止対策経費	480
11	〃	農地有効利用推進事業	町民農園開設準備経費	800
12	〃	漁業者燃油高騰対策事業	省エネルギー機器導入に対する補助	632
13	都市建設課	町道大峯平原線道路改良事業	平原公園進入道路補修改良工事費	10,000
14	上下水道課	生活排水対策事業	合併処理浄化槽単独補助経費	4,032
15	管 理 課	小中学校耐震化推進事業	小中学校耐震調査経費	24,000
16	〃	子どもの安全確保対策事業	町内小中学校AED設置及び教職員用パソコン導入経費	8,800
17	〃	地上デジタル放送移行推進事業	小中学校教育用テレビの地上デジタル放送移行対応経費	15,500
18	生涯学習課	ふれあいセンター整備事業	地区公民館備品等整備経費	5,047
19	企画振興課	日出町まちづくり基金	基金造成	15,000
合 計				136,083

業費で1億3608万円を計上。

条例改正

日出町使用料条例の一部改正は、21年4月から教育委員会部局を統一す

るため管理課が中央公民館2階の講座室に移設することに伴い講座室の使用料を削除するための条例改正と川崎運動公園の利用および管理を円滑に進めるための施設使用料

を定めるものです。職員の給与に関する条例などの一部改正は、町長の給料支給を12/100減額。副町長、教育長の給料支給を8/100減額するものです。

常任委員会

産業建設

平成20年度の 補正予算

簡易水道、公共下水道事業、漁業・農業集落排水事業また特別会計は、歳出では事業費の確定などに伴う不要額の減額補正、歳入では使用料、受益者負担金の決算見込み額による調整で、一般会計繰入金の減額で財源調整しています。補正額は以下の通りです。

簡易水道特別会計

歳入歳出それぞれ407万円減額で総額929万円です。

公共下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1910万円減額で総額12億7516万円です。

漁業集落排水事業特別会計

歳入歳出それぞれ89万円減額で総額6587万円です。

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出それぞれ11

3万円増額で総額3872万円です。

水道事業会計予算

収益的収入では給水収益、加入金などを増額補正し、支出では、原水費、浄水費、排水費、給水費などの営業費用を増額、また減価償却などの営業外費用を増額するとともに予備費で調整し、補正金額は収入支出とも316万円で総額4億1018万円です。

平成21年度の 当初予算

一般会計

一般会計

まちづくり交付金事業、地域活力基盤創造交付金事業と道路改良事業で、21路線の町道改良工事を計画しています。新規事業は堀南浜線、三尺山線、法花寺線、大鞆平原線、笹原三釘線、中村線、豊岡山ノ内線の改良工事です。道路整備費としては約2億8000万円で前年度対比約2000万円の増額となっています。農業の振興は、新規事業として、真那井地区

の土地改良施設維持管理適正化事業、集落営農組織育成強化対策事業、酪農経営安定対策事業、飼料米推進交付金事業に総額1138万円を計上しています。

商工費は、新規に商工業者実態調査事業に236万円、観光費では城下かれい祭り、産業文化まつりで1200万円を計上しています。また新規に的山荘維持管理に20

0万円計上していますが、これは寄付金で措置されています。

簡易水道事業特別会計

主なものは南端地区改良工事費で、新規に管路台帳作成業務費、検針費の予算を計上しています。

公共下水道事業特別会計

面整備工事費、浄化センターとポンプ場の維持管理費、借入金の元利償還金などを計上、歳入では受益者負担金、使用料、

国庫補助金、事業債などに計上し、一般会計繰入金で財源調整しています。

一般会計繰入金は、今年度の下水道使用料改定などにより、前年度と比べ2606万円減額となっています。

土地区画整理事業特別会計

歳出は公債費の償還で、歳入は精算徴収金と一般会計繰入金で措置されています。

漁業集落・農業集落排水事業特別会計

歳出は管路の修繕費、浄化センターの維持管理費、借入金の償還金が主なもので、歳入は主に使用料と町債で、不足分を一般会計繰入金で調整しています。

2件の陳情採択

「汚染米」事件の全容解明と徹底回収、需要のない外米の輸入の中止を求める陳情、「協同出資・協同経営で働く協同組合法」（仮称）の速やかな制定を求める陳情を採択しました。



的山荘を視察

常任委員会

社会厚生

平成20年度の
補正予算

国民健康保険特別会計

特定健康診断の受診者減などにより、歳入、歳出それぞれ1億3877万円を減額し、歳入歳出予算の総額を28億1495万円とするものです。
介護保険特別会計（保険事業勘定）

施設介護サービス給付費負担金の増などにより歳入歳出予算に、それぞれ2635万円を追加し歳入歳出の総額を20億5720万円とするものです。
後期高齢者医療特別会計
広域連合給付金の減額により予算の、歳入歳出から、2008万円を減額し、予算の総額を2億4217万円とするものです。

平成21年度の
当初予算

一般会計

「人」を育てる施策として安心して子育てができる地域環境整備のため、次世代育成支援対策、保育対策、放課後児童健全育成の各事業を引き続き実施します。
新規事業として、豊岡小学校の校舎改築事業の実設計委託費、小学校外国語活動推進事業費を計上しています。

国民健康保険特別会計
歳入歳出予算の総額は27億3859万3千円で、前年度当初予算よりも4・7%減です。
特定健康診断の受診率の向上、訪問指導事業の事業拡大を見込み増額計上です。

介護保険特別会計
保険事業勘定分の予算総額は、20億2479万7千円で、前年度対比

4・5%の増です。

21年度は、第4期介護保険事業計画の初年度となり、介護従事者の処遇改善のため介護報酬を改定するものです。

歳出で、一般管理費や要介護認定事務費、介護サービス、介護予防サービスなどの保険給付費、地域支援事業費などを計上しました。

後期高齢者医療特別会計
後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は、2億4692万8千円で、前年度対比で5・7%の減です。

介護従事者処遇改善臨時特別基金条例の制定
介護従事者の処遇改善のため介護報酬が改定されますが、それに伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため国から臨時特例交付金が交付されます。

来年度以降、介護保険特別会計へ充当するため

に基金を設置するものです。

介護保険条例の一部改定
介護保険事業に係わる保険給付の円滑な実施を確保するための基本指針の改正に基づき、3年ごとに保険料の見直しが必要です。

事業計画では、介護保険従事者の処遇改善のため臨時特例交付金が交付されます。
これらを踏まえた保険料率段階設定を行う必要があることから所要の改正を行うものです。



二の丸館建設予定地発掘現場を視察

一般質問

Q&A ここが知りたい



ケーブルテレビの普及を

後藤 佑 議員

問 スポーツや教養趣味に、そして防災に、ケーブルテレビの果たす役割は、生活する中で大きな力です。ケーブルテレビの活用をどの程度考えていますか。

総務課長 防災意識の啓発、防災情報の発信、また町からのいろいろなお知らせに、CTBメディアの活用方法を考えてい

ます。

問 町のどれくらいかの範囲をメディアが確保して、また戸数はどのくらい加入していますか。

総務課長 1月末現在営業許可エリア内の世帯数が9120世帯、この中で幹線が布設され接続可能となっている世帯が8015世帯、既に接続



ケーブルテレビの普及を（CTB本社社屋）

されている世帯が4563世帯です。

問 総務省の補助金などが考えられますので、ケーブル網を広げ全戸で見られるようにお願いします。

町長 町長になってすぐの平成16年に、ケーブルテレビへ町として出資をいたしました。光ケー

ブルも含めて幹線地区には布設していくというところでしたので少しずつ普及が進むと思います。

定額給付金、町内で利用のお願いは

問 町内で利用していただくために商工会などと協議して、対応することを考えましたか。

商工観光課長 商工会と連携して、定額給付金の給付時期に合わせてプレミアム額のついた商品券を発行するとか、何とかして地元経済の起爆に結びつけたく、商工会へ呼びかけを行ってきました。しかし今の商工会を

取り巻く環境や会員の構成の状況から見ても、プレミアムつきの商品券の発行は、困難であると考えています。

問 1万円でも2万円でも町に落としてもらいたい。税金で成り立っている行政ですので、もう少し大らかに考えてい

ただきたい。1人でやろうが何でやろうがこの町に、金を落とすちゅう大きな前提があるわけですから、4億3千万円を地元で使うように努力をしてみたいと思います。

商工観光課長 消費関係で一番経済効果のある小売業は、170会員ほどあります。でもほとんどが従業員ゼロ人、家内、自分個人でやっているところが98という数字です。旧町部の商店街を含めて、そこが一番問題です。

区画の中の商店は、協力要請も含め時間がかかる状況が商工会との話の中で出てきました。今回の定額給付金にあわせることは、今のところ困難です。

質問を終えて

ケーブルテレビは、町のかくれた情報を映してくれそうです。対象を拡大していただきたいと思います。

一般質問

Q&A ここが知りたい

学力調査の 結果の公表



白水昭義 議員

問 県教育委員会は、学力調査の結果を各自治体は公表するのが望ましいというふうには報道されていましたが、町の対応は。

教育長 全国学力調査結果の公表を各市町村の自主的判断で行うよう要請がありましたので、調査結果の分析と今後の取り組みについて公表することを決めました。

問 公表の仕方は。

教育長 全国、県、町の正答率並びに生活状況の調査の公表です。学校ごとの公表は、文部省の要綱によってできません。

問 町の子どもの実態はどうなっていますか。

教育長 小学校6年生の国語の知識に関する問題は、劣っています。それ以外は全国平均より全て上回っています。また、生活状況や学習状況の意識調査では、テレビ、テレビゲーム、インターネットなどに多くの時間を費やし、学習時間や睡眠時間に悪影響をおよぼしている実態が明らかになりました。

問 学力向上会議の実態は。

教育長 各小・中学校において、学校評議委員、PTA、教職員、指導主事で構成された会議で、各校の実態の報告から、それに対する意見の集約を行っています。

問 指導主事が1名いますが、組織の機構改革を行うべきではありませんか。

教育長 今年度4月1日から中央公民館のほうに教育委員会は移転しますので、機構改革も考えていきたいです。

特別支援体制

問 LD、ADHDに対する特別支援体制は。

教育長 学習障がいのことを学校現場でLD、注意欠陥多動性の児童生徒をADHDと呼んでいます。学校現場の対応は、特別支援教育コーディネーターを1校に1名配置して、支援を要する子どもたちをサポートするためのチームを組織しています。また、各学校に特別支援員を1名ずつ配置して、サポートの必要な児童生徒の支援援助を行っています。

致道館の修理

問 致道館の価値観をどのように考えていますか。

教育長 県に残る唯一の藩校跡ということで、

文化的にも町の誇る財産であると認識しています。

問 建物や石垣に損傷が見られますが、修理予定はありますか。

町長 17年度に改修に必要な金額の積算をしました。県指定文化財でありますので、県との協議が十分必要です。教育委

員会で十分検討して方向づけをしていただきたい。

質問を終えて
質問した3点については町民の皆さんのコメントが得られるような対応、取り組みを切望します。



重要な文化財を守りましょう (致道館)

一般質問

Q&A ここが知りたい

赤潮で死の海と化した磯を生き返して



佐藤 克幸 議員

問 昨年の7月21日

から8月1日の間、大神の地崎の海で、赤潮による大きな被害を受けた漁民のみなさまに、心よりお見舞いを申し上げます。

この地区では11日間赤潮に見舞われ、貝類をはじめ、ナマコ、タコ、メバルなど磯付の漁貝類が



赤潮被害で大量死したまた貝（糸ヶ浜海岸）

死滅して、現在は死の海となつています。昨年の油の高騰で大変な時期に、赤潮被害で追い打ちをかけられて、漁協や漁師ではどうにも対処できない状況です。町長は自然環境の保主人と自然が調和したまちづくりなど、自然を大切に考えられています。

町としてどのように対処していただけるかお尋ねします。

町長 昨年6月に周防灘で発生した有害な赤潮プランクトンが別府湾に流れ込み長期にわたり滞留しました。

発生後、職員はじめ、県、漁協総出で被害調査をしました。

町全域でタコ、アワビ、サザエ、アナゴなど水産資源へ多大な被害が確認され、大神地区を中心に漁獲への影響が見られます。対策として従来どおり稚魚放流事業を中心に取り組みを行い、漁業関係者と協議を行い、予算化するため稚魚がいつこ



何種類もの貝の死骸 憎き赤潮

ろ、どれくらいの量が必要か調査し調整しながら水産資源の増大に取り組んでいきます。

質問を終えて

町長の自然、一次産業に対する温かい対応に感謝申し上げます。

一般質問

Q&A ここが知りたい

農業の後継者 づくりに力を

佐藤 隆 信 議員



問 町の農産物の生産計画を立てていますか。

農林水産課長 生産計画はありますが、農業で生活していく上での所得目標や、主要品目の生産量や単価目標は設定しています。

問 何年でどれくらいの生産高を上げる計画ですか。

農林水産課長 農業産出額45億円を目指し取り組んでいきたいと考えて



新鮮な野菜がいっぱいです (ふれあい市場)

います。

問 農業所得をどれくらい増やそうと計画していますか。

農林水産課長 農業従事者1人当たりの所得目標を最低400万円程度と設定しています。

問 増産しようとしている作物は主に何ですか。

農林水産課長

農協の

生産部会の中で、長年栽培されてきた作物を大事にしていきながら、部会の中で新たな試みを図っているもの、例えばデコポンやタロッコオレレンジなど今後生産が期待されるものは、可能な範囲で支援していきたいと考えています。

また、畜産農家と水稻農家を結びつける飼料米

も増産ができないかと考えています。

問 休耕している農地の利用計画はありますか。

農林水産課長 所有者

の意向を確認しながら、所有者による耕作再開や担い手に貸すことはできないか、畜産用飼料生産や放牧など、集落による保全管理ができないか、市民農園としての利用や草刈りだけでもできないかなどを検討し、農地銀行的な調整利用を図ってきたいと考えています。

問 農業担い手を年間何人くらい増やす計画ですか。

農林水産課長 新規就

農者は年間2名の確保を目標としています。

問 県が行っている就農研修資金の本人1/2負担を町が支援したらどうですか。

農林水産課長 役場内

で協議させていただきたいと思います。

問 これらの事業を執行する職員体制はできていますか。

農林水産課長 課の中

で事務の分担、あるいは課を超えた連携など工夫を凝らしながら仕事をやっていきたいと思っています。

問 町にある中小企業の調査を行っていますか。

商工観光課長 2月に、

地場産業に力を

町内の主な企業訪問を実施しました。現状の把握、今後の見通しなどの情報収集を行い今後とも、引き続き、こうした情報収集に努めていきたいと考えています。

問 中小企業の支援対策をしていますか。

商工観光課長 中小企

業向けの融資補償制度の申し込みも、3月6日現在で町が認定した件数は84件というふうになっています。

質問を終えて

町内中小企業に支援を。農林漁業の生産計画を。

一般質問

Q&A ここが知りたい

観光振興関連 施策を示せ



佐藤 済江 議員

問 体・食・心の健康に着眼し従来の見物観光から体験型観光に主眼を置くことにより、観光客はもとより町民がプログラムに参加することで健康で幸福感を感じる生活を送ることができそうです。財源確保のため国の補助事業、頑張る地方応援プログラムなどの活用はいかがですか。

商工観光課長 町の眠っている観光資源を歴史と

景観を主眼として発掘し、新たな観光ルートの開発と観光誘致に取り組むことをその目的として、ザビエルの道、東鹿鳴越道（別名、殿様道）人間魚雷、回天基地跡整備事業を具体的施策として、地方交付税などの支援措置を受けています。

問 観光コーディネーターの設置は考えませんか。

商工観光課長 通常の事務以外の業務で担当職員の仕事量が多忙になることは明らかですが将来にむけ検討いたします。

問 町民と協働によるプロジェクトの設立を提案いたしますがいかがですか。

商工観光課長 頑張る地方応援プログラムにおけるプロジェクトを構成する具体的な事業、施策の遂行や各地区にある観光資源を活用した特色あるイベントなどの開催は、町民はもとより、NPO法人、ボランティア団体、各種女性団体などの協力が必要不可欠と考えてい

ます。先般、まちづくりネットワークが設立されました。町を、活性化したいと考えている個人やグループの皆さんと、情報交換し協働の町づくりをめざします。最終的には、こうした組織の協力はもとより、随時その企画、立案の段階から運営まで係わっていただけるような、組織の確立をめざして参りたいと考えています。

行政評価システムの導入を

問 総合計画と連動した行政評価システムの導入はどうでしょうか。

企画振興課長 公務員制度改革の中で国が、平成18年から試行し、以後、目標管理による業績評価を取り入れている地方自治体も増えてきています。年度当初、各事業ごとに、1年間の実施目標を設定し、年度の終りに担当者が自己評価、次に課長が評価しまとめ、事業



自立・活力・発展を

の効率を図るものです。職員の情報や目標の共有、志気の向上、コミュニケーションの円滑化などに有効な政策手段と考えられます。

今後、評価システムの導入により、一定のルールのもとに事業評価され、町民のみならずにも分か

りやすく、効率的な行政運営が図れるものと思います。21年度には、新しい年度に向けた新行政改革プランをつくるのが大切で、評価システム導入も前向きに検討させていただきます。

町民の

声

「地域貢献で町づくりを」

福祉タクシーひらつか

豊岡太田区

平塚光久



日出町に住んで約22年になり、自然環境に恵まれて、とても住みよい町であります。

以前より日出町は「福祉の町」と言われており自分自身、福祉についても興味を持っていました。

今年度の福祉事業関係の予算も増加しており今後の活動に期待がもてると感じているところです。行政のおかげで町内も福祉企業、福祉施設、介護や介助など利用者の環境整備は充実して来ていると思います。

しかしながら、利用者や家族の不安や苦労はまだまだ解消できていないとの声があり私も感じています。

特に、単独で移動が困難な方が他人に迷惑をかけずに気軽にいろいろな場所へ行って見たいが、専用の交通機関が少なく、福祉車両の普及や利用率も低く我慢をして家中で過ごし、毎日が同じ生活パターンとなっており外出をあきらめている人や家族が多く、不便を感じていると思われます。

そこで私はそういう人達のために外出や移

動のお手伝いができる便利な福祉車両を準備して、民間で福祉タクシー事業を開業いたしましたのでご利用してください。

お出かけをあきらめずに私と一緒にいきたい所へ行き、思い出づくりや新しい生活環境ができ、利用者や家族が喜んでいただければ幸いです。

自分もいずれ経験しなければならぬことでありそのためにも、町民一人一人の協力でもっともっと福祉環境整備を行い将来住みよい日出町にすることが使命ではないかと感じていますし、これで地域貢献が出来ればいいなあと思っています。

「ここに日出町あり」とアピールするためにも、行政と民間と町民が一致団結し、一体となって努力して高齢者社会の中、未来ある明るい「町づくり」に社会貢献をしていただきたいものです。

微力ながら自分も協力、応援をさせていただきます。

平成21年4月7日から
平成22年4月6日まで

総務常任委員会

委員長 佐藤 清江
副委員長 後藤 佑
委員 笠置 久夫
委員 相原 正和
委員 田原 忠一

産業建設常任委員会

委員長 荒金 啓治
副委員長 佐藤 隆信
委員 笠置 弘
委員 佐藤 克幸
委員 上野 公則

社会厚生常任委員会

委員長 森 昭人
副委員長 安部 三郎
委員 城 美津夫
委員 佐野 故雄
委員 白水 昭義
委員 佐藤 二郎

時が過ぎれば忘れられる。

最近では定額給付金のことや子ども支援の給付金、良い話しのことだけが報道される。

あの年金問題、後期高齢者医療問題はもう過ぎ去った話なのか、政治家も国民も目先のことで、本当の悪はそれを選んでいる国民だと思ふ。

もつすく衆議院選挙。みんな政治にもっと関心をもとう。

(荒金 啓治)

編集委員長 森 昭人

副委員長 荒金 啓治

委員 後藤 佑

委員 上野 公則

委員 田原 忠一

委員 安部 三郎

16日 定例議会(初日)
26日 定例議会(最終日)

の11日間